

GSP JOURNAL

0号
2023/4/10

進路実現を後押しする GSP 講座

『論語』に、「吾十有五にして学に志す」とあります。今とは全く社会構造が異なるので単純に比較することはできませんが、現代の高校生はどうでしょうか。また、志望する学問系統が定まっていないという生徒も多いのではないのでしょうか。

人間は、必ず外部環境から影響をうけます。特に自分の近くにいる人間から影響をうけます。だとしたら、人生は出会いで決まるといっても過言ではありません。GSP では各学問分野の専門家を招聘して講座を開講しています。皆さんの進路実現に寄与する出会いを、GSP に参加して手に入れてください。



【GSP で期待される効用】

1. 学習時間の確保(自主学習)
2. 学問分野への理解(高大連携)
3. 職業観の育成(キャリア教育)
4. 国際交流、英語 4 技能(国際理解)

世界で活躍する個性豊かな星稜生に“成長する”



【自主学習プログラム】

土曜日の午前中に学校へ来ることで、1～3時間の学習時間を確保することができます。GSP では学年やクラスの異なる生徒が同じ教室に入るため、緊張感をもって学習に取り組むことができます。



【キャリア教育プログラム】

職業人をお招きする、あるいは実際に職場を訪問する講座です。わかっているようでわかっていない職業の実態や資格の取得方法、生かし方を学びます。他に、幅広く教養を身につけることができる講座もたくさんあります。



【高大連携プログラム】

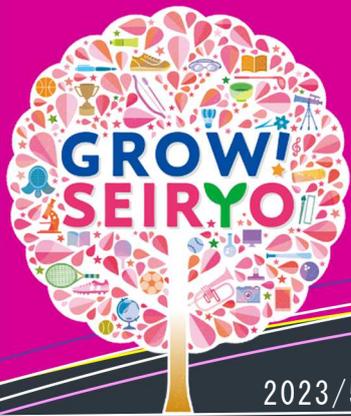
大学で展開されている専門的な講義を直接受講することができます。幅広い学問分野の講座を受講することで、明確な志望理由を定めるきっかけが得られることでしょう。また、進学後のミスマッチ防止にもつながります。



【国際理解プログラム】

外国人講師と直接接しながら、実社会で役立つコミュニケーション能力の体得を目指します。近年は英語だけではなく韓国語の講座も人気です。また、国際社会で起きている様々な問題に対しても理解を深めていきます。





GSP JOURNAL

1号
2023/5/27

百聞は一見に如かず

「百聞は一見に如かず」とは、聞くだけでなく実際に見てみないとわからないという意味ですが、実はこの言葉には続きがあります。「百見は一考に如かず、百考は一行に如かず、百行は一果に如かず」と。つまり、本当に大切なのは成果をあげることであり、そのためには考えて、行動しなければならないということです。その考えること、行動することの先に立つのが聞くことと見ることです。

GSPには「聞」「見」「考」「行」が詰まっています。参加することでいろいろな話を聞くことができ、実際に各分野の最先端を見ることができ、受講をきっかけに考えさせられることがたくさん出てきます。そして参加するという行動から得られた刺激が次なる学習行動につながり、最終的に成果へつながってゆくのです。



～今月のピックアップ講座～

『希望学部の選び方、教えます！』

関西大学の入試センターから講師を招いて実施いただいた講座に、約100名の高校1年生が参加しました。ワークシートを用いた作業を通して、大学選びや文理選択に不安を抱えていた生徒たちも学部での学びに対して理解を深めることができました。

授業では得られない経験、そして得られない出会い！



【社会に役立つドローンの話&操縦体験】

今までちゃんとしたドローン进行操作したことがなかったので、いい経験になりました。操作してみると意外と難しかったです。私は建築関係や土木関係のお仕事にも携わりたいと思っているので今回の体験を活かして、上手に活用できたらいいと思います。(1年生 Y・N)



【医療系資格を取得できる学部への進学ガイダンス】

医学部を目指しているものの、どのような勉強をすれば良いのか、どのように過ごしていけば、医学部合格に近づくことができるのか詳しく知らなかったため、とても良い機会だった。今日受講して学んだことをもとに、これから合格に向けて頑張っていきたい。(1年生 M・Y)



【百人一首の和歌を味わう】

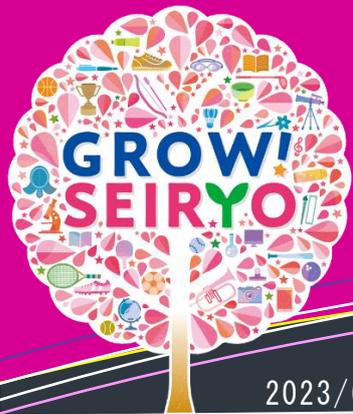
小学校6年生の時に買った本の作者でびっくりしました。会えるなんて思ってもなくて本当に嬉しいです。百人一首のプロすぎて、すごく興味深くて面白かったです。また、かるたしたくなりました。(3年生 E・Y)



【自分色輝く！きものカラーコーディネート講座】

私自身着物がすごく大好きなので着物の色、帯の色の合わせ方など詳しく知ることができて楽しかったです。着物の柄が一緒でも帯の色が違うだけで印象が違って見えるのがとても面白かった。(2年生 K・M)





GSP JOURNAL

2号
2023/6/24

ミスマッチを防ぐには

ある講座を担当くださった先生が嘆いていました。入学してくる学生が全く学問性を理解しておらず、自分に合わないと言ってやめていく。そして、そういうミスマッチを生まないためにもこうやって出張講義や大学説明で各高校を回らせてもらっていると。

GSPの狙いと、大学側の思いが一致していると感じました。本校のGSPにこれだけ多くの外部講師の先生方が来校してくださる理由がわかりました。大学の現場では未だに学問性と自身のミスマッチを感じてやめていく者が絶えないのです。本校の生徒がそうならないように、今後もGSPでは専門性の高い講座を開講していきます。生徒の皆さんは、学問の専門性を少しでも理解した上で進路選択ができるよう、是非とも、GSPで「本物」に触れられる機会を大切にしてください。



～今月のピックアップ講座～

『模擬裁判』

金沢地方検察庁から検察官と事務官に来校いただき、シナリオに沿って模擬裁判を実施しました。その後の検討会も含めて生徒主体で進められ、生徒たちは「本物」の体験を通して検察官の仕事や裁判の進め方、判決を下す時のポイントなどを学ぶことができました。

「本物」を通して学ぶことで得られる、正しい知識と理解



【一流スポーツ選手に学ぶ！】

高校部活動で必要な身体の使い方】

体幹がスポーツには大切だと分かったし、骨盤を真っ直ぐにすることで体幹が強くなると分かった。骨盤を立てるとまっすぐ座ることでさえずぐ辛くて腹筋などが痛かったから日頃から筋肉をほくしておかないかなと思った。(2年生 Y・M)



【くすりのプラモデルを作ってみよう！】

立体的にモデルを組み立てることで分子の構造がわかって、とてもためになりました。家に帰ってから時間のあるときに、知っている分子の構造やプリントに載っていたものなどを作って活用していきたいです。(2年生 N・S)



【共通テストで求められる力とは】

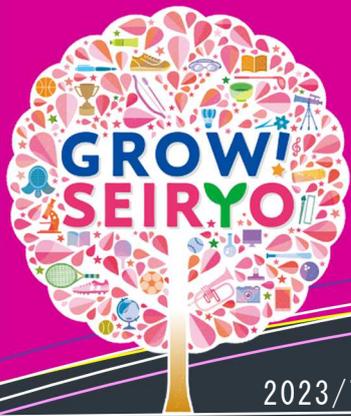
英語の話だったけど、国語にもつながる本当に点分上がりそうな話だった。これからは、5W1Hを意識して問題文の読み方を工夫していきたいです。(3年生 K・Y)



【英検2級の「模擬面接」】

どうい質問でその時にどのように答えれば良いかわかった。自分でも勉強して英検に合格できるように頑張りたいです。(2年生 O・T) ネイティブの方に教えてもらえると思っていなかったのが驚いたけれど、勉強になりました。2級に受かるように頑張りたいです。(2年生 T・K)





GSP JOURNAL

3号
2023/7/15

頭で学び考えて、 実践で体得する

自転車に乗ること、逆上がりをすること、数学の問題を解くこと、英語を話すこと、これらは実践なくして体得することはできません。一方、お手本もなしにやみくもに実践を繰り返しても身につけるまでに時間がかかります。これを逆に考えれば、範を示してもらったことを頭の中で整理して、それを模して実践することで効率的に体得することができるのです。

今月のGSPでは、生徒たちは浴衣の着付けやハンドベルの演奏、韓国語の表記や発音、英会話などを学び、実践し、体得を試みていました。一度の実践で体得できるほど甘いものではないでしょうが、そこで得られた経験が次なるモチベーションにつながり、実践を重ねていけば必ず自分のものにできることでしょう。



～今月のピックアップ講座～

『模擬国会』

新潟大学法学部の栗田ゼミの准教授、学生の皆様に来校いただき、トランスジェンダーのアスリートの大会参加を規制する法令の可否を審議していただきました。その後、グループに分かれた高校生も学生を交えて討議を行い、多様な価値観を認めあう大切さを学びました。

学ぶことの楽しさを知り、星稜生はこれからも成長する



【アンサンブルで感じよう

～音でつながる心と心～

ハンドベルで演奏したことはなかったので、とてもいい経験になりました。他の人の音を聞いて合わせていくのは、まさに心と心が繋がっているようで楽しかったです。(1年生 T・T)



【韓国のドラマとK-POPで学ぶ韓国語】

わたしはK-POPが大好きなので、今回の講座をとっても楽しみにしていました。講師の方が丁寧に韓国語についておしえてくださったのでとても分かりやすかったです。今回の講座を受けてもっと韓国について知りたいって思ったし、韓ドラなどで韓国語の勉強をしたいと思います。(1年生 N・A)



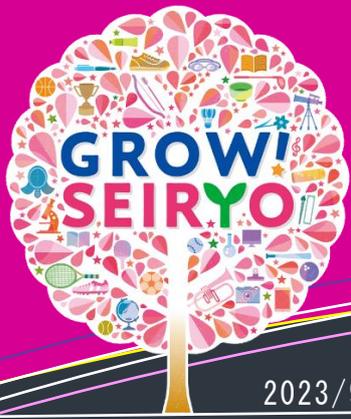
【What is communication?】

頭で変換しながら話すのではなく、日本語は日本語、英語は英語で考えて話すことができると仰っていました。とてもすごいことだと思いますが、私ももっと英語を学んで日本語に変換することなく喋りたいと思いました。(3年生 I・M)



【全統記述高2模試対策】

英語の単語を知っていれば解ける問題や、数学の小問を間違えてしまったので、模試本番までに復習しようと思った。先生の解説がある方が、ただ解説を読むよりしっかり理解できたのでよかった。(2年生 O・M)



GSP JOURNAL

4号
2023/9/23

人生はおもしろい！

今月の講座「先輩から学ぶ人生のヒント」では3人の現役社長が講師を務めてくれました。その講座の中で、高校生たちは自分たちの考えていた「社長像」を改めることができたようです。「社長だからといって成功続きではなく、同じ人間なんだと感じられました」という感想がそれを物語っています。講師のお三方は皆様に高学歴の持ち主ですが、決してその学歴で生きてきたわけではありません。目的を持って学び、人生の中で「決断」を迫られた際には、一生懸命生きてきた過去の経験をもとに「判断」をし、肩書に関係なく一人の生身の人間として生きてきたのです。

この講座の講師だけではなく、東北大学の大学院生も、立命館大学の学生も、金沢病院の看護師さんも、自分の意志で自分の人生を生きている人たちはみな生き生きとしています。こういう人生の先輩方から得られた刺激を日々の学習や部活動などに落とし込んでいければ、人生は必ずおもしろくなります。



～今月のピックアップ講座～

『工学系を志す女子学生の夢の実現を応援します！』

先日、国際卓越研究大学の認定候補に選定された東北大学の工学系女性研究者育成支援推進室(AlicE)より大学院生3名をお招きしました。工学分野の学び、女子学生の学びの実態を聞いた受講生は、東北大学の魅力の大きさに感銘を受けていました。

十二単に核融合、高校での学びの先に真の学問あり



【立命館大学の学生と

「地域のおみやげ」を考えよう！

あまり滋賀県について詳しくなかったけど、滋賀県のお土産を考えることで色々な名産品がわかったし、もっと滋賀県について知りたいと思いました。これからも自分が住む金沢以外の地域のことをたくさん知って、自分の視野を広げていきたいです。(1年生 N・M)



【やさしい十二単講座】

十二単が実は全て合わせても10枚しか重なっていないことや、紐を内側に付けずに一番外側の紐のみで止められているのを知った。成人の儀式名が言語文化の『なよ竹のかぐや姫』で出てきたものと同じで、より面白く感じたので良かった。(1年生 T・N)



【ピアノの実技指導】

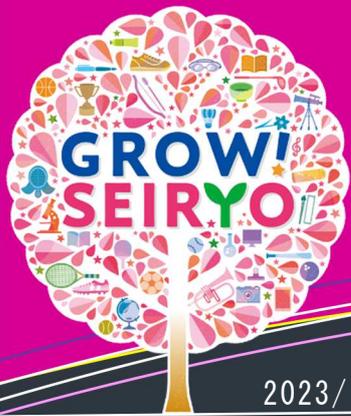
今までのレッスンや練習では気づくことができなかった部分のアドバイスをいただくことができ、細かい部分への意識がもう少し必要だと感じました。他の方のレッスンを聴講して、フォルテの出し方が勉強になりました。(1年生 H・A)



【核融合炉におけるプラズマと材料との相互作用】

内容は物理化学的なもので、少し応用的なこともあったが、プラズマの種類や核融合での発電など、自分たちの周りにあり、その上自分たちの未来に関係があることでもあったので、世界を成り立たせているこのようなことを学べて良かった。(1年生 K・Y)





GSP JOURNAL

5号
2023/10/7

高大連携のもたらす効果

この日のGSPでは、本校と教育提携を結んだ武庫川女子大学の講座が5講座開講されました。「心理学」「薬学」「教育学」「文学」「建築学」のそれぞれの講座に、合計すると100名を超える生徒が参加して大学での学びに対する理解を深め、自分の志望とのミスマッチがないか確認していました。

この高大連携のメリットは他にもあります。それは、学習意欲の向上です。人は憧れる対象に対して、そして自分がやりたいことに対しては、他人から言われなくても最大限の力を注ぎこむことができます。自分の志望する学問分野が真に自分の夢や目標と合致した時、その学習意欲は大きく燃え上がるはず。これもまた、GSPの狙いの一つです。



～今月のピックアップ講座～

『海外の教育を見ながら 日本の教育を考える』

武庫川女子大学の講座の一つ、教育学部の講座内容は非常に興味深いものでした。「グローバル」という言葉が使われるようになって久しいですが、この講義では世界各国の教育事情を知ること、それぞれの国に対する理解を深められたようです。

集中する時間とリラックスして楽しむ時間、両方とも大事な時間



【プロに学ぶ「キャラクター」デザイン】

この講座では実際の人の構造の解説など細かいポイントを教えてもらって、短い時間の中で自分の絵の精度が格段に向上したように思えます。質問にも丁寧に答えてくださり、悩みを解消する事ができました。(1年生 Y・R)



【そば打ち体験&試食会①】

蕎麦について詳しく教えていただいたが、難しく時間をかけて蕎麦を作るんだなと実感した。作って提供されている方の苦勞を頭に入れて、蕎麦に限らず感謝を忘れずに美味しく食べようと改めて思いました。(1年生 W・Y)



【話題の酸化チタン、光触媒について学ぼう】

GSP の中では珍しい、自分たちも"実験をする"という内容で、今までとは違っても新鮮なものだった。その上、実験も非常に面白い内容で、理系物理選択をしたい人にはかなり好奇心を揺さぶられた内容だった。とても満足できた。(1年生 K・Y)

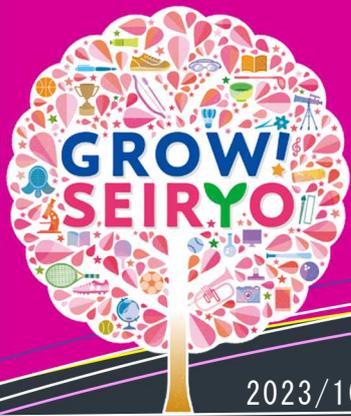


【これであなたも神ハンド!?

アロマで学ぶハンドケア】

普段母親にやっているマッサージによく似ていました！精油を購入してもらって、自分自身にも家族にもやってあげたいと思います。(2年生 Y・A)





GSP JOURNAL

6号
2023/10/21

先輩の姿が一番の手本

星稜高校からは、東大・京大をはじめとする難関国立大学、早慶上理や MARCH・関関同立といった難関私立大学へ過去何人もの卒業生が進学しています。分野も医学、理学、工学、文学、法学、経済学など全ての学問分野をカバーしているといっても過言ではありません。つまり、星稜高校からはあらゆる方面に向けて進路の道が開けているということです。今回の GSP では、そんな幅広い分野に進んだ本校の先輩たちが、後輩に向けて様々な説明・アドバイスをほどしてくれました。

石川県立看護大学と公立小松大学で開催された講座に参加した生徒たちの中には、「先輩たちの高校時代の取り組みや受験に向けたアドバイスが今の自分に役立ちそうだ」という感想が見られました。また、A コースの先輩から話を聞く講座を受講した生徒からは、「これからの人生をより楽しむために、今たくさん勉強することは本当に大事だと再認識した」との感想が寄せられました。



～今月のピックアップ講座～

『ラムダファージ DNA の制限酵素分析』

石川県立大学を訪問して、非常に繊細な操作を擁する実験に高校生が参加しました。担当の講師の方から「見かけよりもずっと難しい実験なのですが、非常に綺麗な結果でした」とお褒めの言葉をいただきました。理学系の分野に進みたい生徒にとっては非常に有意義な時間となったようです。

学ぶことは楽しい、学んだ知識を使うことはもっと楽しい



【学校を測ろう！『in 星稜』】

今回の GSP に参加して更に建築学部に進学したいという思いが強くなりました。協会の皆様と興味深い話しが出来たのも受験勉強の息抜きとなりとても楽しかったです。(3年生 K・M)



【国立大学医学部医学科に合格する秘訣】

医学部へ行きたいという気持ちがさらに高まりました。どのような対策をするべきかなど詳しい話も聞くことができ、とても充実した時間になりました。(1年生 K・A)



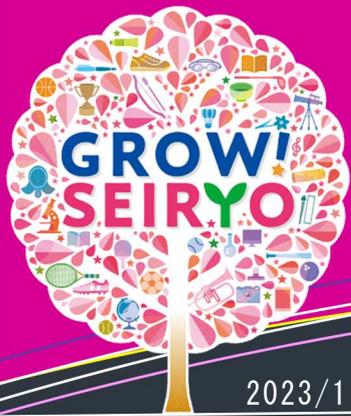
【メンタルトレーニング③「習慣の力」】

勉強を習慣化する上で楽しむ必要がある。物事をネガティブに考えるのではなくプラスに捉えることこそが大事だと思った。「小さなことから始める」「続けるではなく始めるから考える」「初めから完璧を目指さない」ことが勉強の習慣化において大切だと知れてよかった。(1年生 Y・Y)



【「青松祭」へ遊びに行こう！】

学生さんが作った VR を体験したのですが、全然酔わなかったしシューティングゲームで面白かったです。映像もとても綺麗でした。大学生って私たちと数年しか生きている年数は変わらないのに、とてもはっきり話して積極的に明るくて、格好よかったです。(1年生 S・S)



GSP JOURNAL

7号
2023/11/25

学んで時にこれを習ふ

大学の出張講義で学問の専門性に触れる、社会人の講師から話を聞くことで職業観を育成する、などGSPでは高校生の未来を見据えた講座をこれまでに数多く開講してきました。そこで受けた刺激が、日頃の学習への積極的な取り組みに繋がることを期待しています。部活動でも学業でも、目標に見合う努力がなければ、結果は当然ついてきません。

今月のGSPは期末試験直前であり、共通テストまで50日を切るということもあって、自主学习や模試対策、共テ対策の講座に参加する生徒も目立ちました。今の自分と真剣に向き合い、自己実現を目指して懸命に励んでいる生徒、そしてその生徒らを鍛え上げようとする講師の先生方の姿には、胸を打つものがありました。かつて孔子も「学んで時にこれを習ふ」と、反復学習の重要性を説いていましたが、これが真実であることは時を経た今でも変わりません。その努力の先に、真の朋(友)との出会いや師との出会いが待っているのです。



～今月のピックアップ講座～

『セメント硬化体験とVR』

石川県土木部管理課と真柄建設株式会社の協力で実現したこの講座で、生徒たちは建設現場で使用されているセメントをミッキーマウスの型に流し込み、セメントが固まる仕組みを自分の目で見ながら確認していました。待ち時間のVR体験では建設現場の様子を疑似体験することができました。

日本文化に触れる GSP、実社会とつながる GSP



【市長になって予算を作ろう！】

どこかの世代を重視する政策で予算を立てるとその他の世代が苦しみそうな配分になってしまったり、借金が増えてしまったりしたので難しかった。有権者で投票する世代を考えると、年配の人向けの政策をとる政党が有利であることもわかった。(1年生 T・N)



【今年は紅葉！秋の兼六園で“着物”体験】

普段着ない着物を着る体験ができて、とても楽しかったし、良い経験になりました。着付けの方も優しく、話しやすかったので、また体験したいと思いました。(1年生 I・A)



【電動ろくろ体験&瞑想の足湯】

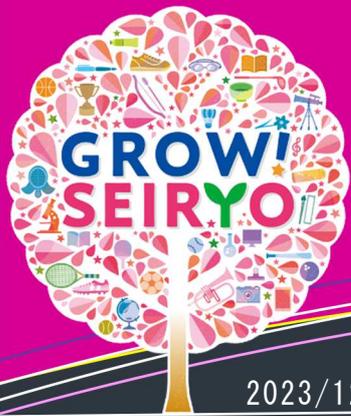
人生初めてのろくろ体験はとても挑戦してみたかったので、嬉しかったです。温泉街を散策したりしてリフレッシュできました。(2年生 Y・M)



【映画プロデューサーに聞く

製作現場の裏側とやりがい】

今日のお話を聞いて、映画はとても奥が深いものだと感じました。映画を見られることは映画を作っている人の努力があるからこそあって、当たり前なことではないんだと思いました。映画の興行収入や裏話的なことを知ることも、楽しみ方の一つだと思いました。(1年生 S・H)



GSP JOURNAL

8号
2023/12/16

誠実にして社会に役立つ

社会に役立つ人間とはどのような人間かを一つに定義することはできません。知識や教養は必須の要素と言えるかもしれませんが、どれだけ賢くても傲慢で独善的な人間は社会に歓迎されることはないでしょう。一方で、知識や教養に加えて共感・協調・協働といった側面を備えていれば、どんな組織においても活躍することができるのではないかと思います。

GSPでは今月も実験やディスカッションを通して他者と意見を交換したり、問題を解決するために協働したりする講座が展開されました。社会に出ると、自分一人では対処できない問題に直面することが多々ありますが、このような場面で生かされる非認知能力を今後もGSPにおいて育成していきたいと思っています。



～今月のピックアップ講座～

『虹をまき散らして、
誰も知らない世界を見に行こう』

萩野正興天文方により、タジック・アース（直径2mの球形スクリーン）を用いて太陽や地球など、宇宙に関する講義が行われました。専門家による分かりやすい講義を受けることで、生徒たちは天体の不思議について理解を深めることができました。

日常の身近なところに学問はあふれていると心得るかな



【飼育員さんから学ぶ、動物たちの素顔と習性】
アニマルウェルフェアという言葉を知りました。客観的にみて、それぞれの動物にあった環境と食べ物で飼育してあげる事が大切だと分かりました。(1年生 S・N)



【受験現代文入門③】
東大の問題と聞いて、自分は太刀打ち出来るのだろうかと不安だったが、難関大の問題であっても解答構文は同じなんだと気づき、今の自分にも少しは書くことができると思った。また、言い換え力、要約する力、語彙力がとても重要だとわかった。(2年生 T・Y)



【皮膚の老化はなぜ起きる？】

老化には自然老化と光老化があり、光老化を防ぐためには日焼け止めは効果的だと分かりました。アメリカのバス運転手が左側だけ日光をあびていたから左側だけ老化したという例がとても印象に残りました。日焼け止めをしっかりと塗ろうと思いました。最後に日焼け止めをいただけ嬉しかったです。(2年生 M・Y)



【一歩先行く看護へ -看護理工学の世界-】

実験をしてみて看護理工学の考え方を身近に体験できた。私は採血が痛くて嫌だったので、スキンプロッキングという方法がもっと開発され、身近なものになればなと思いました。講師の方々が多く準備をしてくださり、いい機会をいただいたので感謝をしたい。(1年生 M・S)